

7-8 四国西予ジオパークでの調査・研究活動の推進

ジオパークは「地球遺産の価値を楽しみながら学ぶことで、保全する世論を高める」ことが大きな目的であり、そのためには科学的な価値や意味を整理・確認することが重要である。

さまざまな研究分野の成果を網羅することが望ましいため、地質学だけでなく地形学、考古学、気象学などの知見を整理し、その場所らしさを説明できるように四国西予ジオパーク内での調査・研究活動を推進する。

先の第2次推進計画を遂行してきた期間において、四国西予ジオパークを訪れた研究者やジオパーク関係者との対話から、四国西予ジオパークで不足している分野の知見を見つめなおし、いくつかの分野については第3次計画で定める期間において、特に研究活動を推進する。

(1) 鍾乳洞・カルスト地形に関する調査・研究活動の推進

計 画 内 容

四国西予ジオパーク内におけるその場所の価値を高めることにつながる。そのため、研究者等による調査・研究活動を推進する。

1. 現状・課題

四国西予ジオパーク（以下、当地域）には様々な異なる年代の石灰岩層が分布しており、川津南の穴神鍾乳洞や惣川の羅漢穴などの鍾乳洞や、大野ヶ原の源氏ヶ駄場を代表とするカルスト地形が存在する。これらの場所の価値を明らかにした研究成果がある一方、羅漢穴の測量図や形成プロセスといった、まだ明らかとなっていないことも存在する。

2. 計画詳細

鍾乳洞やカルスト地形に詳しい外部の研究者の協力を得ながら基本的な情報を調査・整理し、得られた成果については順次共有・発信していく。対象となる四国西予ジオパーク内の土壌の選定や研究方法は外部研究機関からの助言を参考に決定し、選定箇所の調査に関わる交渉や事前準備は事務局が担う。調査成果のとりまとめは外部研究機関が行い、成果に基づく知見の普及・発信は事務局を中心として実施する。

3. 達成目標

- 成果物の作成 令和7年度末までに1件以上
- 成果物を元にした普及啓発 令和7年度末までに2件以上

(2) 四国西予ジオパーク内の土壌に関する調査・研究活動の推進

計 画 内 容

四国西予ジオパークに分布する土壌の特徴や他地域との違いを明らかにするため、研究者等による調査・研究活動を推進する。

1. 現状・課題

四国西予ジオパーク（以下、当地域）には様々な地形や岩石が存在し、土壌の成り立ちや生態系ならびに人間活動への影響も多様であると考えられる。しかしながら当地域における土壌に関する専門的な知見が不足している。特に宇和盆地等に分布する黒ボク土や明浜や大野ヶ原に点在する石灰岩土壌については、各地域の特産品の生産に深く関わるものの、教科書的な知識のみで「この西予の土壌はどのように形成され、他の地域の土壌と比べてどのような特徴があるか」といったことは語るができない。土壌は地形や岩石に比べて農作物という意味合いで身近な存在であり、市民や生産者の方へ「大地の成り立ちと人の暮らしの関わり」を伝える切り口の一つとして有効である。このような課題分析から、外部の研究者の協力を得ながら基本的な情報を調査・整理し、得られた成果については順次共有・発信していく。

2. 計画詳細

調査については土壌学に精通する外部研究機関に依頼する。対象となる四国西予ジオパーク内の土壌の選定や研究方法は研究機関からの助言を参考に決定し、選定箇所の調査に関わる交渉や事前準備は事務局が担う。調査成果のとりまとめは外部研究機関が行い、成果に基づく知見の普及・発信は事務局を中心として実施する。

3. 達成目標

- 成果物の作成 令和7年度末までに1件以上
- 成果物を元にした普及啓発 令和7年度末までに2件以上

(3) その他サイトの価値を高めるための調査・研究活動の推進

計 画 内 容

四国西予ジオパークの各サイトで、大地と生態系、人の暮らしとの関連性を科学的に明らかにすることは、その場所の価値を高めることにつながる。そのため、研究者等による調査・研究活動を推進する。

1. 現状・課題

各サイトやジオパークの見どころにおいて、地質・地形が生態系や文化、暮らしにどう関連しているのかを明らかにするための科学的な根拠となる資料やデータが不足している。

2. 計画詳細

大地との繋がりを語るには科学的な根拠が不足している場所やテーマとなりうる研究分野の選定を行い、それらに適した研究者や専門家に協力を依頼する。

3. 達成目標

- 調査したサイトの数 令和7年度末までに2件以上

(4) ジオパーク内での調査・研究活動に対する支援の強化

計 画 内 容

四国西予ジオパーク内での研究者等による調査・研究活動を支援し、ジオミュージアムやジオ関連施設において研究成果や情報の集積を進める。

1. 現状・課題

西予市ジオパーク推進支援事業の中に、学術研究支援事業を設けており、市内宿泊施設での宿泊費を助成しているが、市内での本格的な調査に対応できていない。愛媛大学協働センターとの連携やジオミュージアムを活用した調査研究成果の報告等を想定し、支援制度の見直しが必要である。

2. 計画詳細

ジオパーク推進室は、四国西予ジオパーク内での地球科学、生物、歴史・文化、防災減災、ジオパーク活動を通じた地域づくり・地域経済などの調査や研究に関する活動を支援し、その成果をジオミュージアム等での情報発信や情報集積につなげるために、支援制度や支援体制の見直しを図る。

また、地域内の学術研究の成果をまとめたデータベースを整備する。

3. 達成目標

■ ジオパーク内における調査研究の件数 年間 2 件以上

うち、研究者等による市民への成果報告が行われた件数 年間 1 件以上

7-9 ジオパークを活かした健康・スポーツの推進

近年の健康志向、レジャー志向の高まりによりノルディックウォークやトレイルランニング、サイクリング、スタンドアップパドルボード（SUP）といったアウトドアスポーツの人気は非常に高まっており、西予市においても様々なイベントや普及活動が展開されている。これらアウトドアスポーツと、景観美に優れたジオサイトを多く有する四国西予ジオパークと結びつけることで、健康増進と地域の魅力を知るジオパーク学習との相乗効果を図ることができることから、四国西予ジオパークの魅力を活かした各種アウトドアスポーツの普及促進を図る。

(1) ジオの魅力を活かしたウォーキングの推進

計 画 内 容

市内の多様なジオサイトを楽しむことができるウォーキングやノルディックウォーク等のコースの拡充を行い、市民の健康増進と四国西予ジオパークの普及啓発を図る。

1. 現状・課題

西予市では市民の健康増進のため、ウォーキングやノルディックウォークなどの普及活動が行われている。

ジオパーク活動と親和性が高いと思われ、連携と支援を行う必要がある。



ノルディックウォーク
(四国西予ジオミュージアム)



フットパス(黒瀬城)

2. 計画詳細

ノルディックウォークやウォーキングの普及活動の一環で行う健康教室を継続的な取り組みとするため、ジオパークの魅力発信と併せて、地域づくり活動センターやジオガイド等と協働して実施する。

また、地域の魅力を歩いて楽しむジオツアーとして、地域づくり組織等が主体的な取り組みを始めている「フットパス」は、地域住民にとって楽しみながらの健康増進にもつながる。

ジオパーク推進室は、地域スポーツクラブが主体となって実施するノルディックイベントや、地域づくり組織等が進めるフットパス、健康ウォーク等を支援し、ジオサイトを活用した取り組みを推進する。

3. 達成目標

- ジオを絡めたウォーキング等の開催件数 年2回以上
- ジオを絡めたフットパス等の開催件数 年2回以上

(2) ジオの魅力を活かしたサイクリングの推進

計 画 内 容

四国西予ジオパークの魅力を活かしたサイクリングコースを整備し、ジオパークを楽しめるサイクリングの普及促進を図る。

1. 現状・課題

愛媛県では全県域を、誰もが自転車に親しみ、自転車を楽しめるサイクリングパラダイスを目指す「愛媛マルゴト自転車道」を展開しており、県と各市町村が連携しハード・ソフトの環境整備が進められている。西予市においては、海岸と里山を巡る特徴的な2つのサイクリングコースが設定されている。

令和4年度から(一社)西予市観光物産協会が四国西予ジオミュージアムなど市内観光施設に電動アシスト自転車(E-BIKE)27台を設置し、観光施設等を起点としたコース作成などE-BIKEを用いた誘客事業を実施している。

2. 計画詳細

建設課及び経済振興課は、県と連携して四国西予ジオパークの魅力を活かしたサイクリングコースの整備を推し進める。(一社)西予市観光物産協会が進めている E-BIKE を誘客事業において、四国西予ジオミュージアムに5台の E-BIKE が設置され、これを活用したジオサイト巡りなどを展開する。また、ジオパークとサイクリングの相乗効果によるさらなる魅力を醸成し、ジオを満喫できるサイクリングイベント等を地元スポーツクラブやジオガイド、(一社)西予市観光物産協会と連携し定期開催することでサイクリング人口の拡大と四国西予ジオパークの普及促進を図る。



四国西予ジオサイクリング(城川地域)

3. 達成目標

- ジオの魅力を活かしたサイクリングイベントの開催件数 年2回以上

(3) ジオの魅力を活かしたその他アウトドアスポーツの推進

計 画 内 容

四国西予ジオパークの魅力を活かしたトレイルランニング、SUP などの活動を支援し、ジオを絡めたアウトドアスポーツの普及促進を図る。

1. 現状・課題

民間の団体等が実施しているトレイルランニングやスタンドアップパドルボード (SUP) などのアウトドアスポーツは、四国西予ジオパークの魅力が体験できる場所で実施されることが多い。

2. 計画詳細

ジオパーク推進室は民間事業者と連携して四国西予ジオパークの魅力を活かしたアウトドアスポーツへの支援を図る。



スタンドアップパドルボード(SUP)

3. 達成目標

- ジオの魅力を活かしたアウトドアイベントの開催件数 年2回以上

7-10 その他

(1) ジオガイドネットワーク及び地域ガイド組織への活動支援

計 画 内 容

四国西予ジオガイドネットワークの活動と地域ガイド組織の活動を支援し、ガイド同士の交流促進、ガイドスキルの向上を図る。

1. 現状・課題

平成 26 年 7 月に四国西予ジオパーク内のガイド活動や会員同士の情報共有、他地域との交流促進を目的として、ジオガイド団体である四国西予ジオガイドネットワークが設立されている。

また、地域づくり組織や地域関係者で構成されているジオガイド組織は、そこで暮らしている住民ならではの話ができる「ローカルジオガイド」であり、ジオ多様性を特徴とする四国西予ジオパークは、ツアーの目的や楽しみ方を引き出すために、双方のジオガイド組織を連携させながら推進していく必要がある。

2. 計画詳細

ジオパーク推進室は、四国西予ジオガイドネットワーク及び地域ジオガイド組織の活動を支援し、ガイド同士の交流促進やジオガイド養成講座、ステップアップ研修等を通じたガイドスキルの向上に努める。また、新規ガイドの人材発掘やジオに興味を持つ人たちが参加しやすい環境整備を行いながら、情報提供や学習会などを通じてガイド関連団体の活動を継続的に支援し、ツアーだけでなく、イベントや教育活動などでガイドが活躍できる機会を積極的に創出していく。

3. 達成目標

- ガイド交流会件数 年 2 回以上

(2) JGNやブロック地域と連携した活動の推進

計 画 内 容

JGN内での連携プログラムの推進や、中四国近畿ブロックと連携した活動を行い、他地域における先駆的・効果的な活動を学びながら、ジオパーク活動の質の向上やネットワーク間の連携強化に努める。

1. 現状・課題

日本ジオパークネットワークでは、親子で体験できる岩石標本づくりや防災教育など、他のジオパークと連携したプログラムを共同で実施している。

また、地域を6ブロック（北海道・東北・関東・甲信越中部・中四国近畿・九州）に区分し、各ブロックが主体となったジオパーク活動の推進も重要であるため、ブロック会議の開催やブロック研修会等への参加を積極的に行い、日本ジオパークネットワークの一員として他地域との相互交流や情報交換に努める必要がある。

2. 計画詳細

ジオパーク推進室は、日本ジオパークネットワークの活動及び中四国近畿ブロック活動を継続的かつ効果的に行い、ジオパークとしての質を高めていく。

また、中四国近畿ブロックよりも比較的参集が容易である四国内のジオパーク関係地域とより密接なネットワーク形成を進め、事業運営における課題や先行的な施策の共有、ガイド同士の交流を図り、ネットワークの連携強化に努める。



日本ジオパーク全国大会ブロック別パビリオン



四国のジオパーク活動地域と連携した
オンラインギャラリートーク

3. 達成目標

- ブロック会議の開催 年1回以上

表5.日本ジオパークネットワーク・中四国近畿ブロック構成団体

	地域名	構成市町村
①	山陰海岸	兵庫県豊岡市、香美町、新温泉町、京都府京丹後市、鳥取県鳥取市、岩美町
②	室戸	高知県室戸市
③	隠岐	島根県隠岐の島町、西ノ島町、海士町、知夫村
④	四国西予	愛媛県西予市
⑤	南紀熊野	和歌山県新宮市、白浜町、上富田町、すさみ町、那智勝浦町、太地町、古座川町、北山村、串本町、奈良県戸津川村
⑥	Mine秋吉台	山口県美祢市
⑦	島根半島・ 宍道湖中海	島根県松江市、出雲市
⑧	萩	山口県萩市、山口市、阿武町
⑨	土佐清水	高知県土佐清水市
⑩	三好	徳島県三好市

(3) 推進協議会体制の強化

計 画 内 容

四国西予ジオパーク推進協議会内の各部会活動や、各団体同士の情報交換、連携事業等を推進し、市民が主体となったジオパーク活動の充実を図る。

1. 現状・課題

市内約 50 の組織により平成 24 年 7 月に設立された四国西予ジオパーク推進協議会は、平成 29 年に部会の体制等の変更を行い、各種事業を部会主導で実行する活動的な組織へと変化している。継続して組織強化を図っていく必要がある。

2. 計画詳細

四国西予ジオパーク推進協議会は、各部会の自主的な活動を支援し、会に所属する各団体同士の密接な情報交換や連携事業、農協や商工会、協議会員等が独自に進めるジオパークを活用した取り組み等を支援する。

また、ジオパークを持続可能な取り組みとするために、これまでの推進体制をさらに見直し、部会員や会員からの声やアイデアを自らが具体化していけるような仕組みづくりを行う。

3. 達成目標

- 協議会員が行うジオパーク活用事業数 年 5 件以上
- 協議会部会活動件数 年 15 回以上

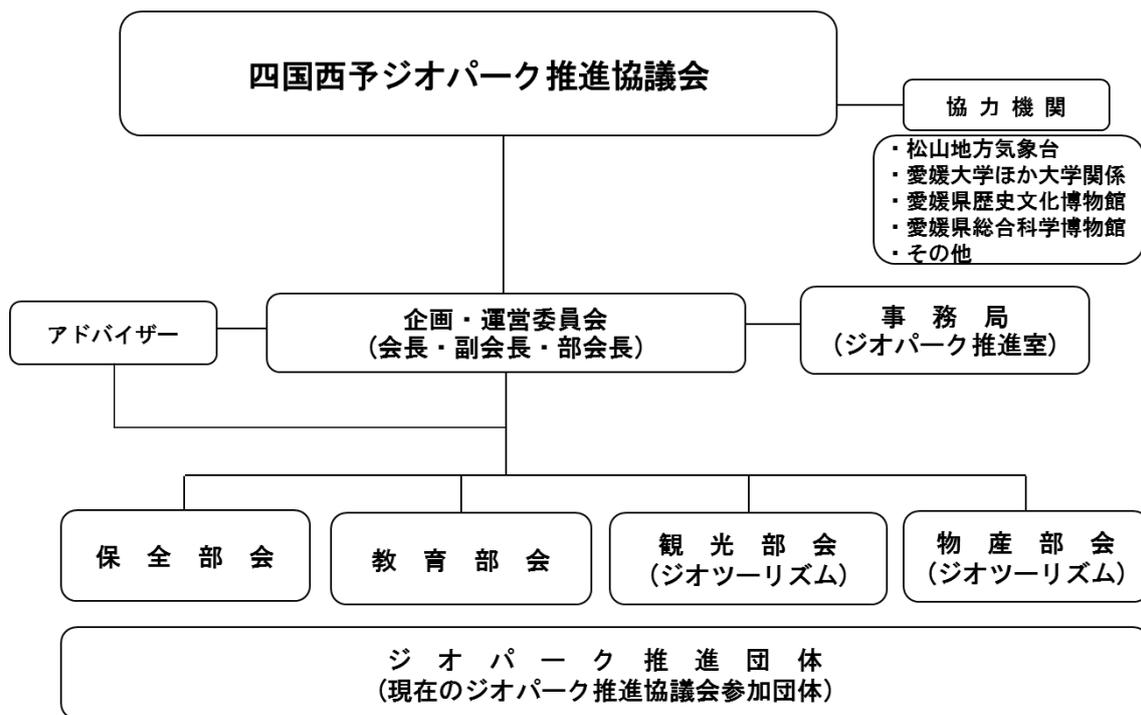


図 10.四国西予ジオパーク推進協議会組織図

(4) 効果的な広報活動の戦略的展開

計画内容

対象を絞り、いかにジオパークの魅力を伝えていくかを定めることで効果的な広報活動を実現し、メディアや各種媒体に戦略的なPRを進める。

1. 現状・課題

四国西予ジオパークは、2013年に初めての認定を受けて9年目を迎えているが、ジオパークに関心をもっている市民は多いとは言えないため、今後も効果的な広報を継続的に行っていく必要がある。

市民や団体と連携した様々なジオパーク活動が行われているものの、それらの活動が見えにくいことから、効果的な情報発信を戦略的に進める必要がある。

2. 計画詳細

ジオパーク推進室はメディアや各種媒体を有効活用した効果的な広報活動を行うために、対象を絞り、ジオパークの魅力や地域の価値をどのように伝えるかを定めたブランディング戦略を2015年に策定した。

今後も引き続き、ブランディング戦略に基づきながら、ホームページやフェイスブック等による効果的な情報発信、統一デザインによる整備等による全方位に向けたメディアミックス活動によってブランドイメージの定着を図る。

3. 達成目標

- HP閲覧者数の増加 対前年比10%増

(5) 四国西予ジオミュージックプロジェクトの展開

計 画 内 容

音楽とジオパークの融合というこれまでにない取り組みによって四国西予ジオパークのさらなる魅力を創造し、新たな観光客層の取り込みによる交流人口の拡大及び地域資源の磨き上げ、並びに四国西予ジオパークの知名度・認知度の向上に繋げる。

1. 現状・課題

平成27年度に国の地方創生推進交付金を活用して、ジオサイトの雰囲気と合致し、その魅力を高め、相乗効果を発揮する楽曲＝ジオミュージックをより多く集めるために、ネット上で開催した音楽コンテスト等によって多くの音楽コンテンツを作成した。

音楽コンテンツについては、著作権を西予市が有しており、市内の映像や動画などと組み合わせた展開を図っている。また、BGMとしての利用を希望する市の関係施設や民間施設には無料で提供している。

2. 計画詳細

集めた音楽コンテンツを活用し、地域の様々な魅力を視覚的に伝えるプロモーションビデオの製作などの多面的な取り組みを進める。これにより、対外的な四国西予ジオパークのプロモーション活動を強化する。

並行して、ジオミュージックを活用した音楽コンテンツについては市内公共施設及び民間施設での展開を積極的に進め、市民への普及・浸透を図る。

3. 達成目標

■ジオミュージックやプロモーション動画等の活用件数

令和7年度末までに20件以上